

「第42回全国中学生人権作文コンテスト」愛媛県大会
(主催:松山地方法務局・愛媛県人権擁護委員連合会)

愛媛県教育委員会教育長賞

「一步踏み出すために」西条北中学校 大村和希羽さん

西条市人権教育協議会
西条市人権擁護課



中学校に入学して一年半が経った。しんどいこともあるけれど、楽しい学校生活を送っている。友達もできて、部活にも一生懸命に取り組めるようになったからだ。

だが、学校生活の中で苦しくなることが全くないわけではない。休み時間などにたまに聞こえてくる会話に気分が落ちこんでしまうときもある。言っている人は深く考えずに言っているのかもしれないけれど。「学校に来ていないやつを見るといらつく。学校に来れなくなるとかメンタル弱すぎやろ。」私はこの言葉を聞いてどきとして、体がこわばってしまった。怖くなったからだ。

私は小学校のとき、学校に行けなかった時期があった。四年生のときのことだ。五年生からは保健室登校、六年生のときもほとんど別室で過ごした。だから、私に向けられた言葉ではないと分かっているけど、そのときのことを思い出して怖くなってしまったのだ。私はみんなにとっていらつく存在だったのだろうか。確かにメンタルが弱いと言われればそうだったかもしれない。当時疲れきって家から出ることもできない状態だったからだ。でも、それまでのことを考えるとメンタルが弱いからという一言で片付けられるとすごく嫌な気持ちになる。学校に行かないと決めるまでにどれだけ悩んだか、どれだけ苦しんだか他人には分からないと思う。だから、「いらつく」「メンタルが弱い」という言葉は私の心を突き刺すくらい辛い物なのだ。それに、もし学校に来ていない本人がこの言葉を聞いたらどんな気持ちになるのだろうと、考えただけでぞっとしてしまう。私なら二度とそんな学校に行くもんかと思うだろう。こんなことを言うのは本当にやめてほしいと思う。

しかし、私は思うだけで、何も言えない。そして、そんな自分にいらいらして、たまらなく嫌になる。じゃあそんなこと言わないでと伝えればいいのにとと思われるかも知れないけど、言うことはできない。それは、四年生のあのときに戻ってしまうかもしれないからだ。私が学校に行けなくなったのは、人に注意をしたことがきっかけだった。私の意見はあっさり否定された。そして、周りの人はその意見に同調して一緒になって私に言い返してくる人もいた。また、その意見に同調しているわけではないけど、何も言わず知らん顔をしている人もいた。もしかしたら、私の意見に賛成してくれている人もいたかもしれない。でも、それを見つ

けられなかった。そんな日々がしばらく続いた。そして、もともと友達のいないクラスだったというもあり、私は一人になってしまった。一人で過ごす休み時間はすごく長かった。だから、私は休み時間が一番嫌だった。そして、一学期の終わりには私はクラスに入れなくなってしまっていた。

私は、どうしたらよかったのだろうか。黙っていたらよかったのだろうか。なんなら一緒になってふざけるくらいのほうがよかったのだろうか。私が心を広くもって、もう少しがまんできていればこんなことにはならなかったのだろうか。私にもう少しユーモアがあってもおもしろい話ができる人気者だったら、その人たちは話を聞いてくれたかもしれない。でも、現実の私はユーモアもない、人気もない、心も広くない。残念ながら話をしても受け入れてもらえそうにない。世の中には差別をなくす立場に立つ人と差別を残す立場に立つ人の二種類の人がいるという。今の私は、完全に差別を残す立場の人間である。そう考えると悔しくてたまらなくなる。できれば差別をなくす立場に立つ人になりたい。でも、傷つきたくもない。学校に通えなくなるようなことには、もう二度となりたくない。二つの気持ちが天びんのように揺れ動いている。バランスがとれて、どちらも大切にできるようになりたい。

私がこの作文を書いたのは、自分のためである。正直言って、学校に来ていない子のことをなんとかしてあげたいと、いつも考えているわけではない。悪口を言っている人のことを大切にしたいと思ってこれを書いたわけでもない。自分の気持ちの整理をしたかったからだ。そして、分かったことは、自分のことが一番大切に、誰からも嫌われたくない、臆病者だということだ。私は八方美人の典型であろう。

理想は、学校に来れない子のために何ができるか考えたり、悪口を言う子に「言わないでほしい」ときちんと伝えたりできる人になることだ。しかし、理想にはまだ遠い。

私は、この作文を書きながら小学校のときのことを思い出し、何度も泣いた。でも、泣きながら少しずつ気持ちがほぐれていくように思った。まだまだ弱くて臆病な私だけど、一つだけこれから実行しようと思うことを決めた。それは、学校に来ていない子の机の中をきれいに整頓することだ。いつ来ても気持ちよく過ごせるように。



公民館だより

よしい

2024年
2月号
令和6年

吉井地区12月末人口	前月比
男 1,114人	(-1人)
女 1,196人	(+1人)
計 2,310人	(±0人)
世帯数 1,100戸	(±0戸)

〒799-1363 西条市玉之江235-2
TEL・FAX: (0898) 64-3001
E-mail: yoshii-k@saijo-city.jp
<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoiku/yosii-index.html>



←カラーの公民館だよりは
こちらです。

二十歳の集い

令和6年1月7日(日)、丹原文化会館で「西条市二十歳の集い」が行われました。

節目を迎えられたみなさん、おめでとうございます。2人の代表による「二十歳の主張」に二十歳のみなさんは思いを同じくしたり、大人の方は頼もしく感じたりしたのではないのでしょうか。



今年の集いの対象者は、
平成15年4月2日から
平成16年4月1日生まれの方です。
・吉井小学校区 : 21人
・東予東中学校区: 155人

平成15年(2003年)の流行・出来事

【社会】

- ・ 郵政事業庁が日本郵政公社に
- ・ オレオレ詐欺が横行
- ・ 六本木ヒルズがオープン
- ・ 小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ
- ・ 最後の日本産トキ「キン」が死亡
- ・ 鳥インフルエンザ感染発生
- ・ 日経平均株価がバブル崩壊後最安値7,603.76円
- ・ 第43回衆議院選挙で民主党躍進
- ・ スペースシャトル・コロンビア号が空中分解
- ・ イラク戦争開戦。サダム・フセイン政権崩壊
- ・ SARSが世界的に大流行

【ベストセラー】『バカの壁』養老孟司

『世界の中心で、愛をさけぶ』片山恭一
『トリビアの泉へえの本(1~4)』

【新語・流行語】毒まんじゅう/なんでだろ~

マニフェスト/コメ泥棒/ピフォーアフター

【音楽】『世界に一つだけの花』(SMAP)

『COLORS』(宇多田ヒカル)

『さくら(独唱)』(森山直太朗)

【テレビドラマ】NHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」

GOOD LUCK!! / 白い巨塔 / 僕の生きる道

Dr.コトー診療所 / ウォーターボーイズ

【スポーツ】

・ 貴乃花・武蔵丸が引退、朝青龍が横綱に昇進

・ プロ野球セリーグ優勝: 阪神タイガース

・ パリーグ優勝: 福岡ダイエーホークス

【邦画】・ 座頭市(北野武)

・ 踊る大捜査線 レインボーブリッジを封鎖せよ!

・ ポケットモンスター アドバンスジェネレーション

・ 名探偵コナン 迷宮の十字路・ 黄泉がえり

【洋画】・ ハリー・ポッターと秘密の部屋

・ マトリックス・リローデッド

・ ロード・オブ・ザ・リング ニつの塔

・ パイレーツ・オブ・カリビアン 呪われた海賊たち

地域の話題



とうとうさん

【1月7日(日)・まき】今年も自治会や老人クラブなど地域の方々のご協力を得て、各地区でとうとうさんを作ることができました。材料の竹は、昨年のうちに愛護班のお父さんたちが竹林から切り出しておいたものです。

【1月14日(日)・はやし】冷え込む朝でしたが、石鎚山がきれいに見える晴天の下、無事にはやすことができました。

今年一年、元気に過ごせますように。

門松の贈り物



今年も公民館の玄関に立派な門松が届けられました。気持ちのよい仕事始めの日になりました。

おめでとう 凧あげ大会で入賞! ★

1月6日(土)、東予運動公園多目的広場で西条市子ども凧あげ大会が開催されました。吉井小学校からもたくさんの児童が参加し、次の2人が入賞しました。

- ◆ライオンズクラブ賞 伊藤瑠威さん
- ◆アイデア賞 合田燈真さん

来年の4年生も、素敵な凧を作り、ぜひ大会に参加してください。

祝

交通安全協会吉井支部が表彰されました

令和5年12月に、西条交通安全協会吉井支部が西条西警察署から表彰されました。

日頃の交通事故防止活動のおかげで、私たちは安全に道路を通行することができています。



サークル活動

吉井フォトクラブ 作品展示

【期間】 令和6年1月30日まで

【場所】 東予南地域交流センター 展示スペース



「吉井フォトクラブ」は、毎月最終水曜日 18:30~21:30に例会を行っています。吉井地区文化祭や市内各所で作品を展示しています。

東予南地域交流センターでは、センターで活動している団体や吉井公民館のサークルの作品を1か月毎に入れ替えて展示しています。ぜひご覧ください。

2月は 吉井絵手紙サークルの作品です。

他施設からのお知らせ

東予南地域交流センター 作品展示発表会 令和6年 3月2日(土)

- 【作品展示】 9:30~15:00
 - 教室：陶芸/手しごと カントリークラフト
 - サークル：さくら会
 - 東予南こども園 園児
- 【お茶席】 9:30~14:00
 - 前売券1枚 250円
 - 当日券1枚 300円
- 【手しごと体験】 9:30~14:00
 - ブローチ、ストラップ作り 1個 300円

【問合せ】 東予南地域交流センター 電話:0898-65-6680

2月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
休館	休館		びん・スプレー缶			カワセミ号 11:00~11:30
11	12	13	14	15	16	17
休館	休館		古紙			
18	19	20	21	22	23	24
休館	休館		公民館 協力委員会		天皇誕生日 休館	カワセミ号 11:00~11:30
25	26	27	28	29		
休館	休館					



■ 毎週月曜日と祝日は休館日です。
■ 日曜日を臨時休館といたします。(令和6年3月まで)



石田短歌会

ちらしずし芋の天ぷら朝より作りておりぬいとこら集う
暑さ過ぎ秋無きように通り抜け寒さ感ずる冬支度入る
秋日差すカーテン越しに庭に見んメダカに餌をやる夫の面影
枝剪りて冬日たっぷり射す庭に育つルピナスの葉の可愛ゆくて
長生はするものぞかし好きな事長く続けて芸術文化功労章を受く

山内喜久子
山内美佐子
森田 薫
徳永吉則
相原サツキ